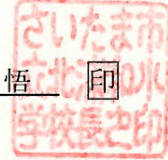


<様式1>

令和2年度 さいたま市立北浦和小学校 自己評価書

校長 三 村 悟



1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

本校は今年度で開校74年目を迎える。これまでに保護者、地域の方々に支えられ、教育活動を展開してきた。

学校教育目標「進んで学び 高め合う 北小の子」の具現化に向け、自分の想いや考えを伝え、学び合う力を伸ばすために各教科で主体的・対話的な学びを各教科で重視しながら学習を進めている。そこで、以下の教育活動等の工夫改善を行おうとした評価項目を設定し、全教職員で取り組んできた。

- (1) 本校のよさと伝統を大切にするとともに、新しい文化を創造し、時代の要請に応える質の高い教育の推進—教育課程の編成・実施状況—
- (2) 児童のよさを認め、褒めて伸ばす、笑顔と自信をもたせ、いつもわくわく感にあふれる児童の育成—各教科等の授業の状況、児童生徒の状況—
- (3) 学校・家庭・地域との連携を深め、安心・安全、そして特色のある学校づくりの推進—いじめの防止等の状況、安全教育の状況、保健管理の状況、学校と保護者、地域住民との連携の状況—
- (4) 教員の業務改善に向けた、ワーク・ライフ・バランスの充実の推進—学校における働き方改革の状況—

2 評価結果について

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業があったが、各教科の年間指導計画の見直しを図りつつ計画的に学習を進められたことや、「学校の新しい生活様式」に基づいた感染症対策を行いながら、学年で工夫した行事や校外学習を行うことができた。

- ・教育課程の編成、実施状況に関する質問項目では、学校経営方針のもと指導することができ、90%以上の教職員が十分満足の回答であった。その反面、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業のため、学校課題研修が計画通りに進まないこともあり、研修の成果を普段の授業に生かすことがあまりできなかったという意見もあった。
- ・いじめの防止等の状況に関する質問項目では、北浦和小のやくそくのもと、生徒指導にあたることができたという教職員が90%以上であった。また、生徒指導上の問題が起きた際には管理職や生徒指導主任、学年主任に相談し、報告・連絡・相談の連絡体制が構築できた。
- ・学校における働き方改革の状況に関する項目では、満足と答えた教職員は80%以上ではあるが、まだまだ改善に取り組めるとの声も多くあった。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・中止あるいは規模を縮小した学校行事について、「学校の新しい生活様式」に基づいて実施する方法や時期を見直しつつ、特色ある学校づくりを進めていく。
- ・学校における働き方改革の観点から、児童の欠席時の連絡方法を連絡帳から学校安心メールに変更、集金日の集金仕分けを手作業から口座引き落としの形にしていく。
- ・職員会議や職員集会の目安時間を設定したり、日報を活用したりすることで会議にかける時間を短くしていく。その時間を学校課題研修に充てるなどして教職員の指導力向上につなげていく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。